

## ‘10年1月9日 新春観望会

by kuma

2010年1月9日。

冬の定番観望地である湯河原町で今年最初の丹星観望会を行いました。

私の到着が16時過ぎ。明るい内に機材の設置を済ませるつもりで早めに現地入りしましたが私が一番乗りでした。先月と比べて随分と日の入りが遅くなりましたね。

日没頃には続々と仲間が到着し、最終的には10名のメンバーが集まりました。



photo kimata

今日は久しぶりにシュワ 150 を持ってきました。

背中に乗せたボグ 76 の支持脚が行方不明になっていたためしばらく出番がありませんでしたが、年末の大掃除で見つけたため久しぶりに連れて来ました。

今夜はハーシェル 400 の対象をやっつけるつもりで詳細星図も用意して気合い十分でしたが、生憎と 20 時頃より雲が発生し、くじら座～天頂付近を覆いつくしてしまう。ここで 20 個ぐらい DSO を稼ぐ予定でしたが、序盤から出鼻をくじかれてしまいました。

雲間から M31 と  $\gamma$  And を見ましたが、薄雲越しとあって  $\gamma$  And の伴星の青緑がくすんで見えました。シーイングはそこそこ良いようです。

まだまだ先も長いのでここで小休止です。

今回もおでんを仕込みました。

仕込み時間の関係で大根と玉子を入れていませんが、前回は量がやや不足気味でしたので、今回はおでん種もたっぷり用意しました。



photo kimata



photo yasuo

昆布で出汁を取りじっくりと煮込んだおかげで味もよく染みっていて参加者からも大変好評をいただき、おかげで最初の一杯めはあっという間に完食でした。冬場の観望には鍋は大変なご馳走ですね。

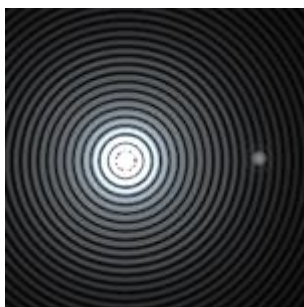
おでん休憩の後、東側は比較的雲が少なかったので、最初に火星を見てみると極冠の白さがやけに目立ちます。どうやら表面模様の少ない面がこちらを向けていたようです。ハセガワさんがご自身のFSの像と見比べていましたがどちらも良く見えていました。私の見立てでは表面の明るさは口径差もありシュワの方が上でしたが、微細な表面模様の検出能力はFSの方が優れていたように思います。

ふたご周辺の幾つかの対象を流したあと、雲間に姿を見せていたシリウスを300倍でじっくりと見てみました。シーイングは意外と落ち着いていましたが、この倍率だとやはり回折リングが暴れ気味で、伴星らしきものが見えなくもありませんが残念ながら特定には至りません。

しばらくしてヤスさんが、45cm ドブだと伴星らしきものが見えるような気がする、と言いながら私を誘いに来ました。早速見せていただくと、エアリーディスクのすぐ北側とやや離れた東側にそれらしき姿が見え隠れしています。北側のは回折リングの歪みのようでしたが、東側のは回折リングの影響のない離れた位置に見えていたので、ひょっとしてビンゴかも知れません。

事前に位置を調べずに見ていたので慌てて手持ちのデータを調べたところ、位置角 190 度とあったのでこれだとエアリーディスクのほぼ南側に見える事になり、どうやらどちらの光点も違ったようだという事でその場では収めました。

翌日、どうにも腑に落ちず改めて最新データを調べたところ、シリウス B の位置角 91.06 度、角距離 8.84" になっているではありませんか。私が現場に持参したデータは誤っていたのです。



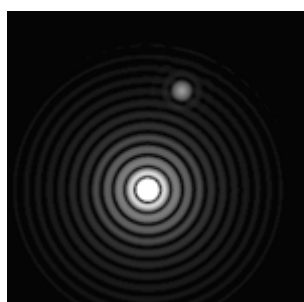
重星研究で著名な木村陽一さん製作のソフトを使用してシリウスと伴星の位置関係を掲載します。

口径の差があるため実際の見え方と多少の違いはあるにせよ、本体のほぼ東側に伴星が見えるのは間違いなさそうです。

やはりあの東側僅かな光点が伴星だったのでしょうか。

私自身、生涯二度目の貴重な体験になりました。

ついでに以前から重星 ML の間で話題になっていた  $\epsilon$  CMa を見てみました。



おおいぬ座  $\epsilon$  星 固有名:adhara

M1-M2 1.52 等-7.5 等 角距離 7.0" 位置角 161°

10cm ではこれまで一度も分離が確認出来なかった対象です。

今夜は 15cm200 倍でこの画像よりもさらに微弱な M2 が何とか見えました。光度差の大きな対象はやはり口径がモノを言うようです。因みにこのアダールは最も明るい 2 等星として知られています。

このあとも二杯めのおでんをつつきながら各自のんびりと過ごしました。

夜半前には**土星**も姿を現し、好シーイングのおかげで本体と環の隙間もはっきりと見えていました。どうやら環の方も随分と開いてきたようです。本体の向こう側には影も伸びていました。やはりシーイングが良いと惑星も見ていて楽しいですね。

今夜見えていた火星と土星は惑星の中でも色収差の影響の少ない対象なので、アクロマートのシュワでもじっくり楽しむ事が出来ました。

**R-Lep(クリームゾンスター)**も久し振りに見ました。近傍の星との比較で 7.8 等級程度と見積もりましたが、炭素星の特徴でもあるその妖しいまでの深紅さが見事でした。

空の方は相変わらず雲の多い空が広がっていたので、夜半を過ぎて半数以上のメンバーが撤収して行きました。幸い気温も穏やかで、そのまま残ったメンバー全員が機材を撤収した後も椅子に腰かけてのんびり過ごしていたところ、25 時ごろから突然雲が無くなりほぼ全天に渡って晴れ間が広がりました。

Sekiya さんが一旦撤収した Ninja320 を再び設置、ここからは春の DSO を中心に流す事に。**M81&82、M97&108、M106、M51、NGC2903、M95、96、105、M65、66、N3628、NGC4565、NGC4631、マルカリアンチェーン等々**、春のメジャー処をたっぷり堪能しました。

この後も明け方 4 時まで観望してから車で仮眠を採り、各々現地解散となりました。

2010 年最初の観望会は雲に悩まされながらも幸先良く朝まで完走する事が出来ました。

今年も一年晴れ間の多い年でありますように。

了